

## 2020年度日本学生オリエンテーリング選手権大会 ロング・ディスタンス競技部門 要項 2.2



発行日 : 2020年8月25日(火)  
発行者 : 2020年度日本学生オリエンテーリング選手権大会  
ロング・ディスタンス競技部門実行委員会  
発行責任者 : 岡崎 良昭 (実行委員長)  
編集責任者 : 桑原 大樹 (広報責任者)

2020年7月27日付の日本学生オリエンテーリング連盟からの発表の通り、スプリント競技部門は当該日程での開催を断念いたしました。

### はじめに

本大会では、日本学生オリエンテーリング選手権実施規則第2.1項に定められた『ロング・ディスタンス競技部門』（以下、**選手権の部**）を実施します。また、選手権の部に出場しない日本学連加盟員のための競技部門（以下、**一般の部**）を併設開催します。

### 開催日

2020年 **10** 月 **18** 日 (日)

### 開催地

栃木県矢板市 栃木県民の森 付近

### 主催

日本学生オリエンテーリング連盟、栃木県オリエンテーリング協会

### 共催

一般社団法人大学スポーツ協会（令和2年度スポーツ庁補助事業）

### 主管

2020年度日本学生オリエンテーリング選手権大会 ロング・ディスタンス競技部門実行委員会

実行委員長	岡崎 良昭 (栃木県オリエンテーリング協会)
副実行委員長	荻田 育徳 (栃木県オリエンテーリング協会)
渉外責任者	山川 克則 (栃木県オリエンテーリング協会)
競技責任者	松尾 怜治 (東京 14)
運営責任者	桑 潤哉 (東京 14)
コース設定者	橘 孝祐 (横浜国立 13)
イベント・アドバイザー	佐藤 大樹 (東京工業 11)

※ ( ) 内は所属、もしくは出身大学と入学年度

### 主管者の連絡先 (お問い合わせ先)

**主管者の連絡先** (お問い合わせはこちらをお願いします)

**実行委員会への問い合わせ** (ロング・ディスタンス競技部門)

✉ e-mail: [icsl2020\\_info@googlegroups.com](mailto:icsl2020_info@googlegroups.com)

## 大会公式 Web サイト



URL: <http://www.orienteering.com/~icsl2020/index.html>

## 略称

本要項では、以下の略称を使用することがあります。

略称	正式名称
実施規則	日本学生オリエンテーリング選手権実施規則
日本学連	日本学生オリエンテーリング連盟

# 1 競技情報

## 競技形式／地図仕様

競技形式／競技区分	地図仕様				
	縮尺	等高線 間隔	走行 可能性	地図表記	
ロング・ディスタンス 競技部門	選手権の部	1:15000	5m	4段階 表示	ISOM2017-2 準拠
	一般の部	1:10000			

## パンチングシステム

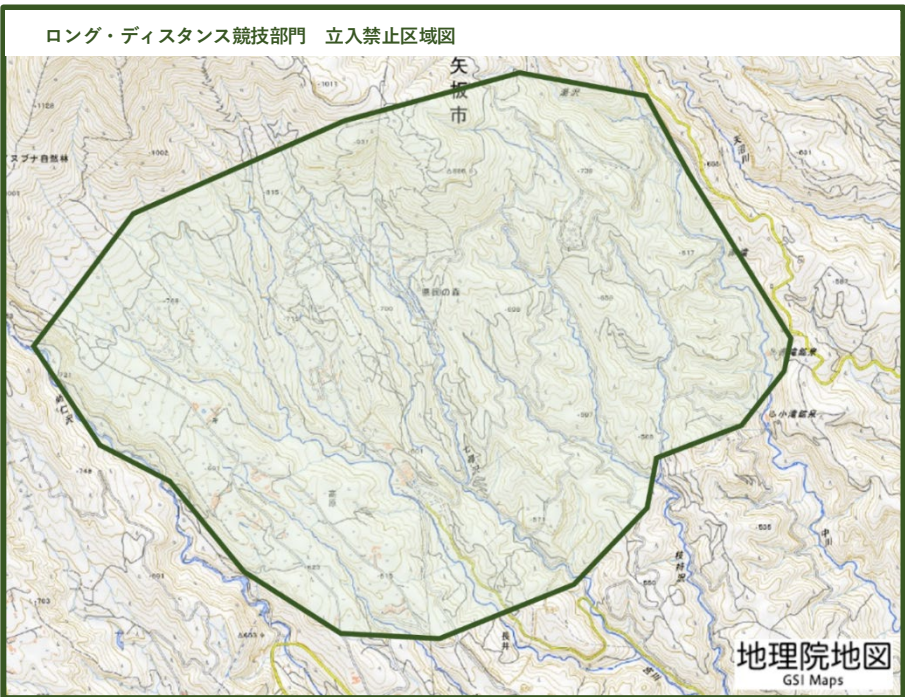
Emit 社製の電子パンチングシステム(Electronic Punching and Timing system)を使用します。  
Eカードは貸し出しを行います。個人所有のEカードを使用することもできます。

## トレイン概要

競技が行われる栃木県民の森は、標高 500～800m に位置し、野鳥や植物の種類に富み、自然観察に適した自然公園である。トレイン内には、キャンプ場や多数の小径が存在する一方、急峻な尾根と沢が発達したエリアや緩斜面エリアが混在している。植生はいわゆる矢板トレインと異なる部分が多く、概して通行可能性が高い。今大会開催に向け作成された、完全新規地図である。

## 立入禁止区域・クローズトレイン

本大会への参加を予定している者（チームオフィシャル含む）および観戦を予定している者は、要項 1 発行日から本大会終了までの期間、立入禁止区域への オリエンテーリング目的（トレイン視察含む）での立ち入り 行為を禁止します。なお、立入禁止区域周辺道路の利用は妨げません。



## モデルイベント

新型コロナウイルス感染症対策のため、**実施しません**。

## トレーニングトレイン

設けません。

## ドーピング検査

本大会では、選手権の部においてドーピング検査を行う可能性があります。実施の有無はプログラム（要項 3）上で発表します。

ドーピング検査に関する詳細は、下記の JOA アンチドーピング委員会 Web サイトに掲載されている「日本オリエンテーリング協会ドーピング防止規程」「ドーピング検査対象大会へのエントリーに際する注意事項」をご覧ください。

**ドーピング検査に関する情報** JOA アンチドーピング委員会 Web サイト

URL : <http://www.orienteering.or.jp/AD/>

**日本アンチ・ドーピング規程の詳細** JADA の Web サイト

URL : <https://www.playtruejapan.org/>

# 2 クラスと参加資格

## ロング・ディスタンス競技部門

### 選手権の部

#### ◆クラス情報

クラス	優勝設定時間(予定)
男子選手権 (ME)	80分
女子選手権 (WE)	65分

男子選手権、女子選手権の優勝者をロング・ディスタンス競技選手権者とします。

#### ◆参加資格

以下の2点を共に満たす者が「選手権の部」に参加することができます。

- ・実施規則第4.1項の規定（学連加盟員であること・学連登録年度4年以内・年齢は当該年度3月31日現在29歳未満）を満たすこと。
- ・地区学連枠、前年度個人実績枠、あるいは日学枠（下記参照）による出場資格を持っていること

日本学連技術委員会が2020年7月20日付けで発表した「2020年度インカレロング競技者配分について」に基づき、地区学連枠および前年度個人実績枠を下記の通り設けます。

#### <地区学連枠>

各地区学連の競技者配分人数は下記の通りです。

また、競技者の選出方法は、各地区学連の定めるところによります。

クラス	北東	関東	北信越	東海	関西	中九四	計
男子選手権 (ME)	13	28	2	8	7	2	60
女子選手権 (WE)	4	14	1	6	4	1	30

#### <前年度個人実績枠>

昨年度入賞者である下記の者は、上記の地区学連枠と別に選手権の部の出場資格を得ます。

クラス	氏名 (大学・学連登録年度)
男子選手権 (ME)	小牧 弘季 (筑波 4)      椎名 晃丈 (東京 4)
女子選手権 (WE)	宮本 和奏 (筑波 4)      伊部 琴美 (名古屋 4)      小林 祐子 (東北 4) 香取 瑞穂 (立教 4)      世良 史佳 (立教 4)

また、日本学連理事会による採決の結果、下記の通り ICL2020 に関する特別枠を設けます。

#### <ICL2020 に関する特別枠 (通称：日学枠) >

上記の枠で選出されなかった選手についても、日本学連に対し自己推薦書を提出することで、特別枠での選考を行うことが出来ます。

この枠は、男女最大5名ずつの選出が行われます。選考を希望する者は、後日日本学連より発行される案内を参照してください。

## 一般の部

### ◆クラス情報

クラス	対象	参加資格	優勝設定時間(予定)
MUL	男子上級者	日本学連登録2年目以上の男子	50分
MUS	男子中級者	日本学連登録2年目以上の男子	40分
MUF	男子新人	日本学連登録初年度の男子	40分
WUL	女子上級者	日本学連登録2年目以上の女子	50分
WUS	女子中級者	日本学連登録2年目以上の女子	40分
WUF	女子新人	日本学連登録初年度の女子	30分

- ・申込多数のクラスについては、参加者数に応じて複数のクラスに分割する可能性があります。
- ・表彰対象は、最初に日本学連登録をした年度から数えて4年目以内の者に限ります。(すべてのクラスが山川杯の対象となります。)

### ◆参加資格

- ・選手登録名簿提出時から大会開催時の期間において日本学連加盟員であること。

## チームオフィシャル

参加校はチームオフィシャルを登録することができます。チームオフィシャルは、選手権の部・一般の部両スタート地区(選手権の部スタート待機所含む・以下同じ)および会場において、選手のサポートができます。

4章に記載の通り、感染症拡大防止を目的とした参加者管理の観点から、本大会においては**サポート業務を行うOB・OGは必ずオフィシャル登録が必要です。オフィシャル登録がなされていない者による会場・スタート地区への来場、選手のサポート活動は選手権の部・一般の部問わず認めません。**

この対応に伴い、各大学が最低限のサポート人員を確保することを目的として、各校に認められるチームオフィシャルの人数を以下の通りに定めます。(※実施規則不適用事項のため現在理事会へ申請中)

**選手権クラスの出場有無を問わず、下記の通り出場各校に対し合計最大4名。**

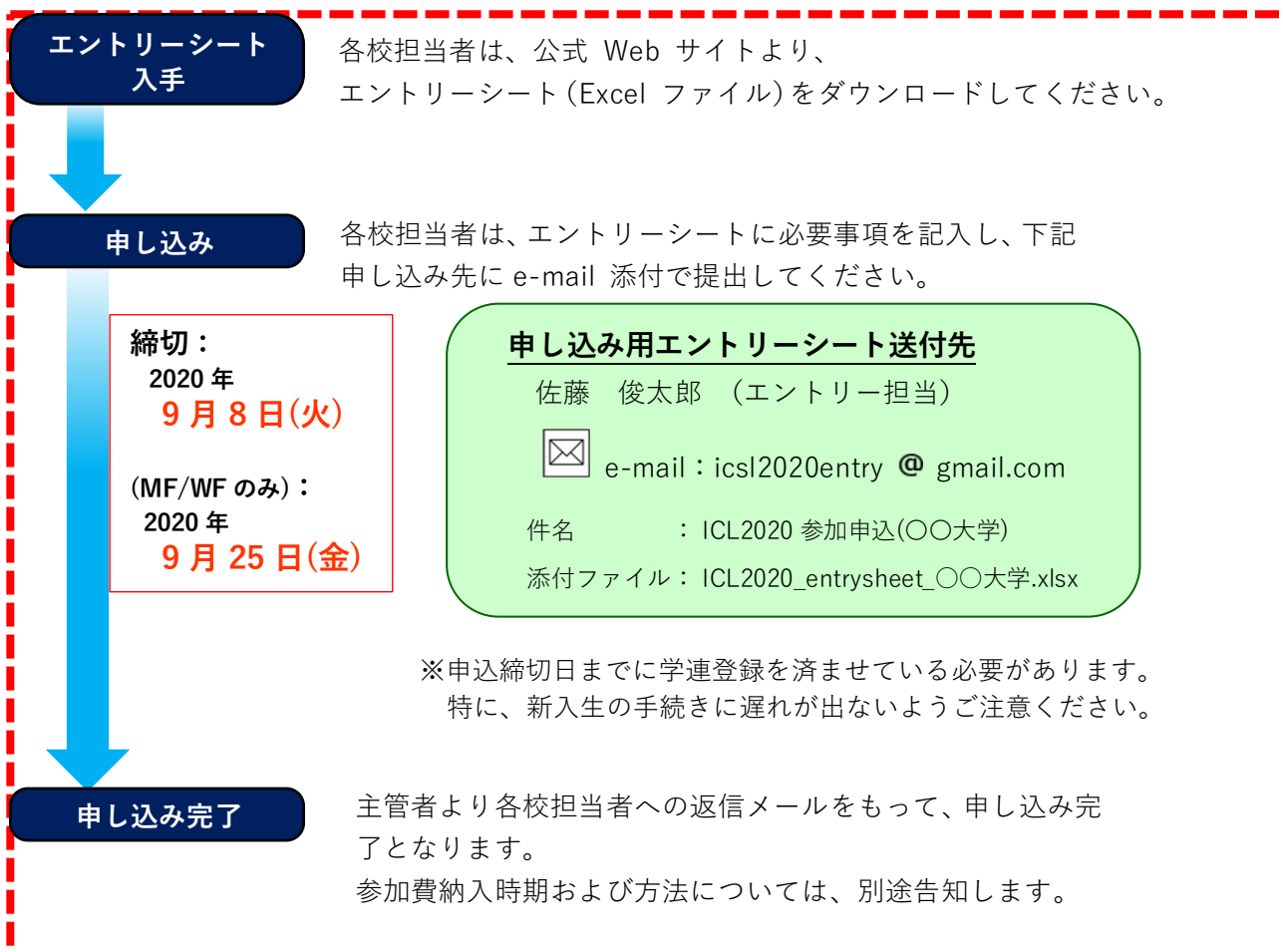
- ・男子クラスの選手登録に対して最大2名まで
- ・女子クラスの選手登録に対して最大2名まで

また、各オフィシャルについても、選手と同様のエントリー条件を設けます。詳しくは3章・4章をご確認ください。

# 3 参加申し込み

## エントリー方法

### ◆申し込み方法



## 参加費

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の影響による学生の金銭的状况を鑑み、

- ・参加費を例年よりも引き下げました。
- ・参加費納入を大会終了後とします。そのため、**大会中止の場合、参加費集金は行いません。**

要項 3 (プログラム) および報告書については大会公式 Web サイトでの公開のみとします。冊子の配布は行いません。

項目	参加資格
選手権の部参加費	4000 円
一般の部参加費(L/S クラス)	3000 円
一般の部参加費(F クラス)	1000 円
チームオフィシャル登録費 (1 人につき)	2000 円
E カード貸し出し	+300 円

※ レンタル E カードを破損・紛失した場合、別途料金が発生します。



## 選手権クラスへのエントリー

選手権クラスへの参加は、各地区学連からの選手権出場者名簿の提出をもって決定します。そのため、選手権クラス出場を希望する方は、エントリー時に「選手権クラスに出場しない場合の参加希望クラス」を記入してください。

各地区学連からの選手権出場者確定後、各大学に確定の参加費をご連絡いたします。

## エントリー注意事項

- ・理由の如何によらず、**締め切り後のエントリー追加・変更、代走申請は認めません。**
- ・欠席の場合は、必ず事前に各校担当者から実行委員会へ連絡をお願いします。
- ・**欠席者分の参加費は徴収しません。**

## 新型コロナウイルス感染症への対策

新型コロナウイルス感染症対策のため、下記を選手・オフィシャルに義務づけ、条件を満たす場合のみエントリーを受け付けます。

- ・エントリー時から新型コロナウイルス接触確認アプリ(COCoA)をインストールし、運用すること。
- ・コロナウイルス対応ガイドラインを読み、内容遵守に同意すること。

また、上記条件を満たしエントリーした後でも、当日の健康状態を鑑み実行委員会が参加をお断りすることがあります。詳細は「4.新型コロナウイルス感染症対応」の章をご確認ください。



# 4 新型コロナウイルス感染症対応

実行委員会では、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)に対する対応を下記の通り行います。

## コロナウイルス対応ガイドラインの制定

本大会において新型コロナウイルス感染症の伝染・クラスター発生を防ぐため、実行委員会で対応ガイドラインを制定します。**本ガイドラインを遵守することをエントリーの条件とします**ので、内容に関しては**別ファイル**をご確認ください。

## 新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）のインストール義務化

本大会参加者は、厚生労働省からリリースされている**新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）のインストールおよび運用**をエントリー時から義務づけます。

## 実行委員会による参加不許可基準

エントリー後でも、大会当日に以下の基準に該当する場合、実行委員会が参加をお断りすることがあります。予めご了承ください。

### <①体温・体調>

前日及び当日の体温が 37.5 度以上である場合。

また、「咳が続く」「味覚・嗅覚異常」「頭痛」「倦怠感」等、新型コロナウイルス感染症の疑いのある症状が見られる場合。

### <②濃厚接触者の有無>

新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）により、大会前の直近 14 日以内に陽性者との濃厚接触が判明した場合。

また、上記期間の間、同居する家族等の中で感染者が発生した場合。

### <③海外からの渡航歴>

大会前の直近 14 日以内に海外からの渡航履歴がある場合。

ただし帰国後に PCR 検査を実施し、陰性であった場合は、この限りではありません。

## スタート時間および選手権待機所入場締切時間の後ろ倒し

例年のインカレよりもスタート時間を遅くするなど、可能な限り宿泊が不要となるよう調整します。現在、下記のタイムスケジュールを検討しています。

- ・一般の部トップスタート 10:30(予定)
- ・選手権の部出場者待機所入場締切目安 12:00(予定)

また、5章の宿泊・交通についてもあわせて確認をお願いします。

## 併設大会および応援・観戦の禁止

自治体の要請により、**日本学連登録の学生以外を対象とした併設大会は行いません**。

無観客での実施を要請されているため、**出走する学生およびオフィシャル以外の来場は認めません**。

### 新人クラスのエントリー期限延長

十分に新歓活動を行えておらず、新人の学連登録が出来ていないことを考慮し、新人クラスについてはエントリー期限を9月25日(金)に伸ばして対応します。

### 参加費納入時期の後ろ倒し

参加費の納入は、大会終了後に受け付けます。万が一大会が中止となった場合、請求はありません。

### 選手権出場者決定の後ろ倒し

各学連のセレクションが延期されている現状を踏まえ、各地区学連からの選手権出場者登録は9月25日(金)を締め切りとします。



## 5

# 宿泊・交通・弁当

### 宿泊

本大会では、実行委員会で宿泊施設の斡旋は行いません。

新型コロナウイルス感染症対策のため、宿泊については各大学の指針に従ってください。

実行委員会では例年のインカレよりもスタート時間を遅くするなど、可能な限り宿泊が不要となるよう調整します。詳細は4章の記載をご確認ください。

なお、宿泊する場合栃木県民の森キャンプ場への宿泊は認めません。

### 交通

矢板駅から会場まで、徒歩または路線バスでの来場はできません。駐車スペースは確保していますので、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、**原則として自家用車またはチャーターバスでの来場**をお願い致します。ただし、事情により矢板駅からの輸送を希望する方が多数いる場合は、運営側でマイクロバス等の手配を検討いたします。

後乗車人数の把握のためのアンケートを日本学連メーリングリストにて送信いたしますので、各校担当者は回答をお願いします。

### 弁当

実行委員会では弁当を手配しません。



## 6

# 観戦・併設大会

### 観戦

本大会の開催条件として、自治体より「無観客試合」とすることを義務づけられております。

つきましては、**出走する学生およびオフィシャル以外の来場は認めません。**ご了承ください。

### 併設大会

上記の理由により、日本学連加盟員以外の一般の方を対象とした**併設大会は開催しません。**

(要項 2.2 おわり)

# プログラム広告募集

実行委員会では、要項3（プログラム）に掲載する広告を募集します。

母校の学生に向けたメッセージ、クラブの大会告知など、様々な広告をお待ちしております。

なお、**新型コロナウイルス感染症対応のため、今年は例年と様々な条件がございます**ので、下記の注意事項をよく読み応募をお願いします。

## サイズ・掲載費用

サイズ (mm×mm)	1コマ (1/8 ページ) 67×85	2コマ (1/4 ページ) 67×170 or 134×85	4コマ (1/2 ページ) 134×170	8コマ (1 ページ) 267×170	16コマ (2 ページ) 267×170×2
営利団体	12,000 円	20,000 円	36,000 円	64,000 円	100,000 円
非営利団体	6,000 円	10,000 円	18,000 円	32,000 円	50,000 円

## 注意事項

- ・要項3の印刷・配布は行いません。Web上に掲載し、PDFでの閲覧のみとなります。
- ・1ページのサイズはA4とさせていただきます。
- ・広告原稿は、次のいずれかの形式で受け付けます：JPEG, BMP, PNG, PDF
- ・広告掲載費用の請求は、大会開催の如何によらず、要項3が発行された場合に請求させていただきます。要項3発行前に大会の中止が決定した場合、広告掲載費用は徴収いたしません。

## 申込方法

Google Formでの申込となります。下記リンクから申込んでください。

<https://bit.ly/ICL2020AD>

## 広告原稿締切

**2020年9月27日(日) 23:59 厳守**

申込後、提出先をお知らせします。

提出確認後、9月29日(火)までに確認のメールを送付します。

## 申込締切

**2020年9月25日(金) 23:59 厳守**

## 広告掲載費用の請求について

広告掲載費用および振込先については、要項3発行後、申込時にご記入いただいた連絡先にご連絡いたします。

## 問い合わせ先

[icl2020\\_ad@googlegroups.com](mailto:icl2020_ad@googlegroups.com)

## アスリートとサポートスタッフのみなさんへ。

なぜ、私たちにとって、アンチ・ドーピングの  
知識や活動が必要なのでしょう？

アンチ・ドーピングは、たんに  
「不正する人を見つけ、不当な勝利を防ぐ」ための活動ではありません。

アンチ・ドーピングは、スポーツを成り立たせている  
「みんながフェアであること」を守るためにあります。  
全員がフェアでなければ、そもそもスポーツは成り立たない。  
すべての人が、スポーツに参加し、公平に競い合うことができる。  
その権利を守るために、アンチ・ドーピング活動があります。

そして、もうひとつ。アンチ・ドーピングは、  
「スポーツが生み出す価値」を守るためにあります。  
挑戦する心、相手へのリスペクト、そこから生まれる友情、  
そんな、社会にとっても大切な価値を守るためにあります。

フェアであることを守り、スポーツの価値を守る。  
そのいちばん中心となるのが、アスリートとサポートスタッフのみなさんです。  
みなさんが、フェアであることをつねに誇りに思い、  
その大切さを、世の中に示すこと。  
それこそが、スポーツの発展を支え、よりよい社会をつくる力になります。

フェアであることの誇りを胸に、素晴らしいスポーツの価値を、  
ともに広めていきましょう。



**勝利を超える価値がある**

**スポーツのフェアネスが、社会のフェアネスを支えるために。**



公益財団法人 日本アンチ・ドーピング機構